

青森県景気ウォッチャー調査 (令和5年4月期)

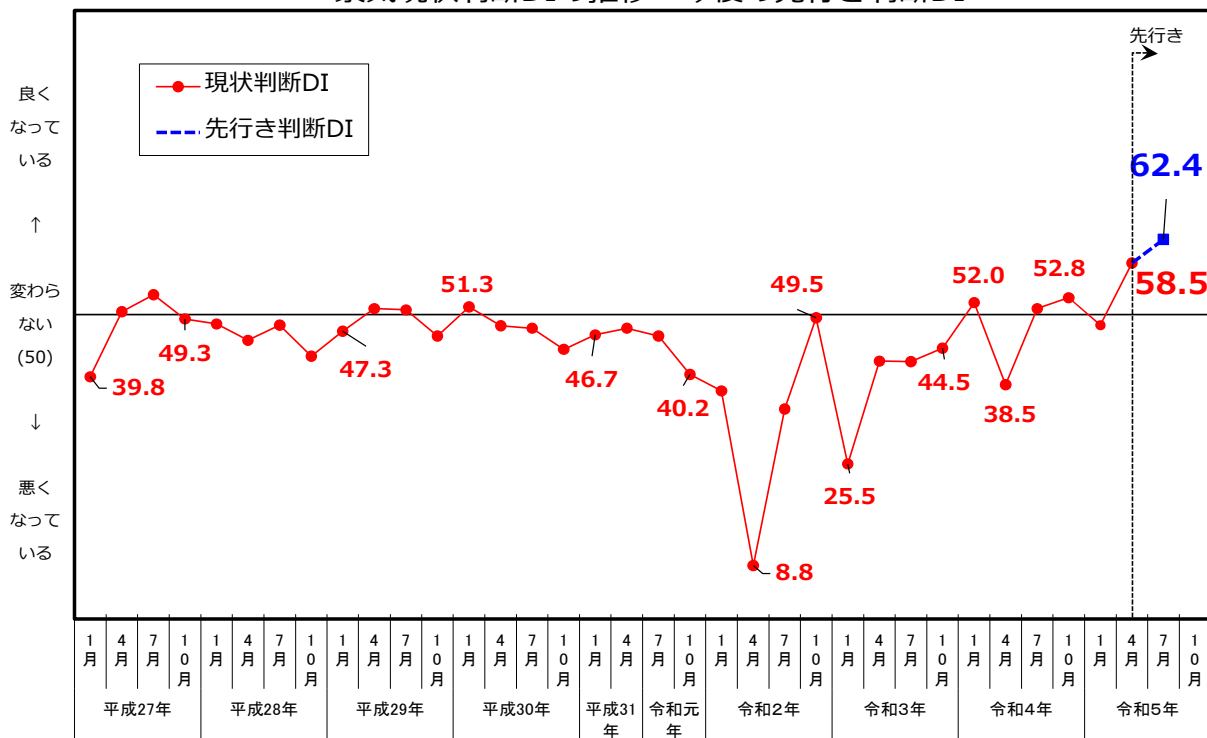
調査期間 令和5年4月3日～4月24日 回答率 97%

概況

4月期の景気の現状判断DIは58.5となり、前期から10.2ポイント上昇し、景気の横ばいを示す50を2期ぶりに上回った。

先行き判断DIは、現状判断DIと比べて3.9ポイント上昇の62.4となった。

景気現状判断DIの推移・今後の先行き判断DI



令和5年4月

青森県企画政策部統計分析課

1. 結果概要

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断D I

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が1.2ポイント上昇、「やや良くなっている」が12.4ポイント上昇、「変わらない」が6.0ポイント上昇、「やや悪くなっている」が12.6ポイント低下、「悪くなっている」が6.9ポイント低下となった。

全体では58.5となり、前期から10.2ポイント上昇し、景気の横ばいを示す50を2期ぶりに上回った。

判断理由では、3カ月前と比べて、新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着きを見せていることに加え、マスクの着用が個人の判断となったことや、人の動きが活発になり宴会や各種イベントが開催されるようになってきているといった声があった。

一方で、依然として続いている原油、原材料、光熱費の価格高騰や、相次ぐ各種商品の値上げによる個人消費の悪化を懸念する声も多くみられた。

② 分野別の動向

前期調査と比べると、家計関連全体で10.1ポイント上昇、企業関連で5.6ポイント上昇、雇用関連で25.0ポイント上昇となった。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、全ての地区で上昇し、全ての地区で景気の横ばいを示す50を上回った。

(2) 3カ月後の景気の先行き判断D I

① 県全体の動向

今期調査の現状判断D Iと比べると、「良くなる」が3.0ポイント上昇、「やや良くなる」が1.0ポイント上昇、「変わらない」が2.0ポイント上昇、「やや悪くなる」が4.1ポイント低下、「悪くなる」が2.0ポイント低下となった。

全体では62.4となり、今期調査の現状判断D Iと比べて3.9ポイント上昇し、景気の横ばいを示す50を上回った。

判断理由では、行楽シーズンの訪れとともに祭りや各種イベントの開催による県内外からの観光客の増加や、インバウンドの増加を期待する声があった。

一方で、依然として続く原油、原材料、光熱費等の価格高騰や物価上昇の影響による消費低迷が懸念されるといった声があった。

② 分野別の動向

今期調査の現状判断D Iと比べて、家計関連全体で4.5ポイント上昇、企業関連で2.8ポイント上昇、雇用関連で同水準となった。

③ 地区別の動向

今期調査の現状判断D Iと比べて、下北で低下したものの、全ての地区で景気の横ばいを示す50を上回った。

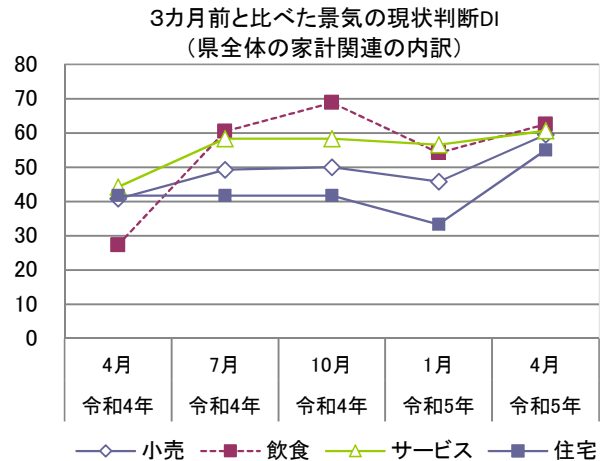
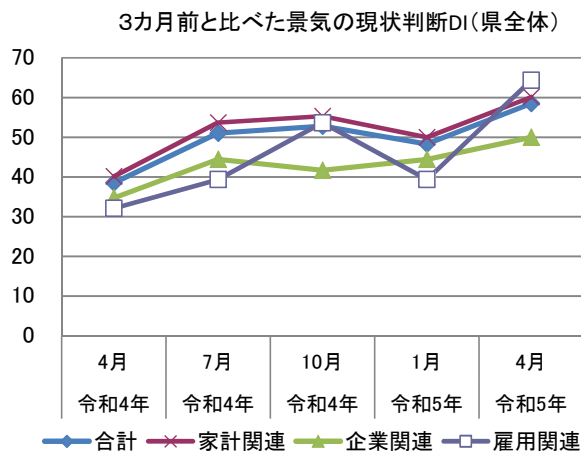
2. 県全体の動向

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

①DI

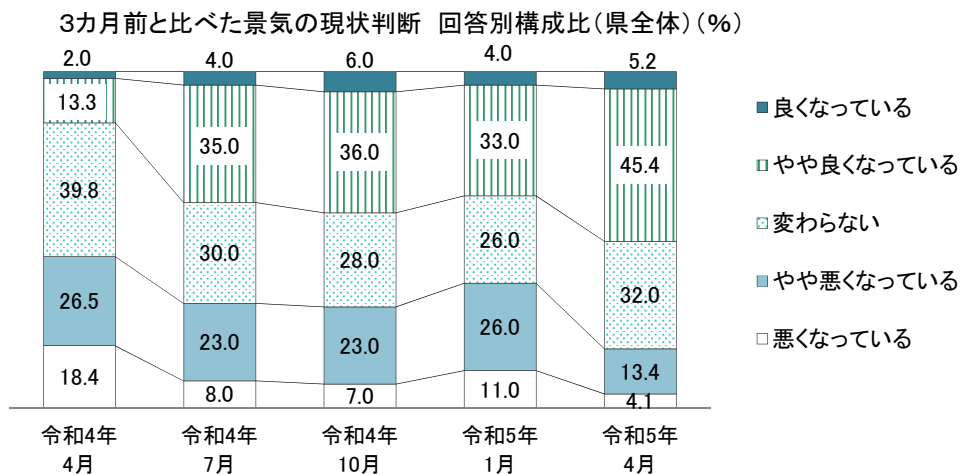
n = 97

	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	前期調査 との差
合計	38.5	51.0	52.8	48.3	58.5	10.2
家計関連	40.1	53.7	55.3	50.0	60.1	10.1
小売	40.8	49.2	50.0	45.8	59.5	13.7
飲食	27.3	60.4	68.8	54.2	62.5	8.3
サービス	44.2	58.3	58.3	56.5	60.6	4.1
住宅	41.7	41.7	41.7	33.3	55.0	21.7
企業関連	34.7	44.4	41.7	44.4	50.0	5.6
雇用関連	32.1	39.3	53.6	39.3	64.3	25.0



②回答別構成比 (%)

	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	前期調査 との差
良くなっている	2.0	4.0	6.0	4.0	5.2	1.2
やや良くなっている	13.3	35.0	36.0	33.0	45.4	12.4
変わらない	39.8	30.0	28.0	26.0	32.0	6.0
やや悪くなっている	26.5	23.0	23.0	26.0	13.4	▲ 12.6
悪くなっている	18.4	8.0	7.0	11.0	4.1	▲ 6.9



(2) 3カ月後の景気の先行き判断 ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 97

	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	令和5年 7月	前期調査 との差
合 計	50.3	47.0	49.0	50.0	62.4	12.4
家計関連	52.4	49.7	50.7	52.7	64.6	11.9
小売	50.8	48.3	45.8	53.3	62.1	8.8
飲食	56.8	56.3	70.5	52.1	72.9	20.8
サービス	57.7	52.8	50.9	54.6	64.4	9.8
住宅	29.2	29.2	37.5	41.7	60.0	18.3
企業関連	40.3	37.5	40.3	37.5	52.8	15.3
雇用関連	53.6	42.9	53.6	53.6	64.3	10.7

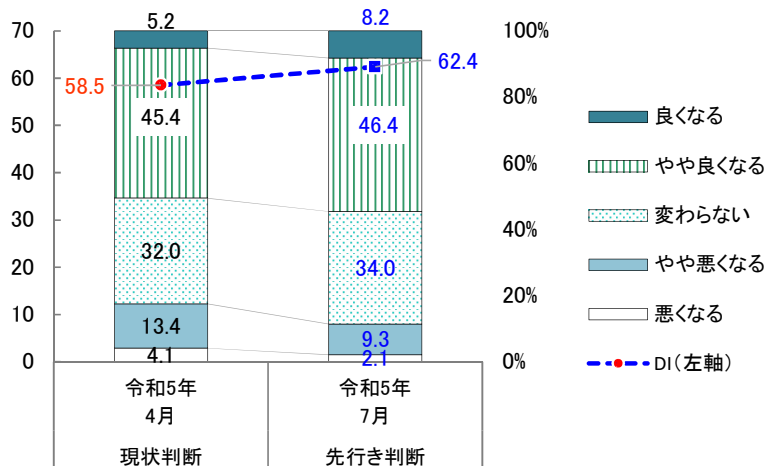
② 今期の現状判断D Iと先行き判断D Iとの比較

	現状判断 令和5年 4月	先行き判断 令和5年 7月	差
合 計	58.5	62.4	3.9
家計関連	60.1	64.6	4.5
小売	59.5	62.1	2.6
飲食	62.5	72.9	10.4
サービス	60.6	64.4	3.8
住宅	55.0	60.0	5.0
企業関連	50.0	52.8	2.8
雇用関連	64.3	64.3	0.0

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和5年 4月	先行き判断 令和5年 7月	差
良くなる	5.2	8.2	3.0
やや良くなる	45.4	46.4	1.0
変わらない	32.0	34.0	2.0
やや悪くなる	13.4	9.3	▲ 4.1
悪くなる	4.1	2.1	▲ 2.0

現状判断と先行き判断との比較(県全体・合計)



3. 地区別の動向

※下北地区については、サンプル数が少ないため、参考値とする。

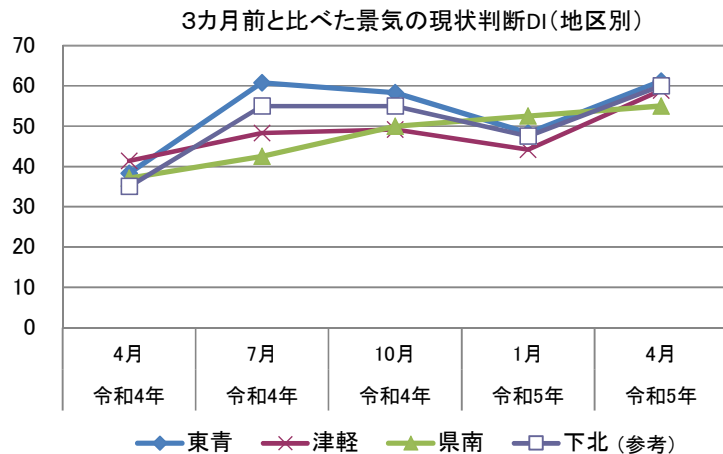
(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

<地区別>

① D I

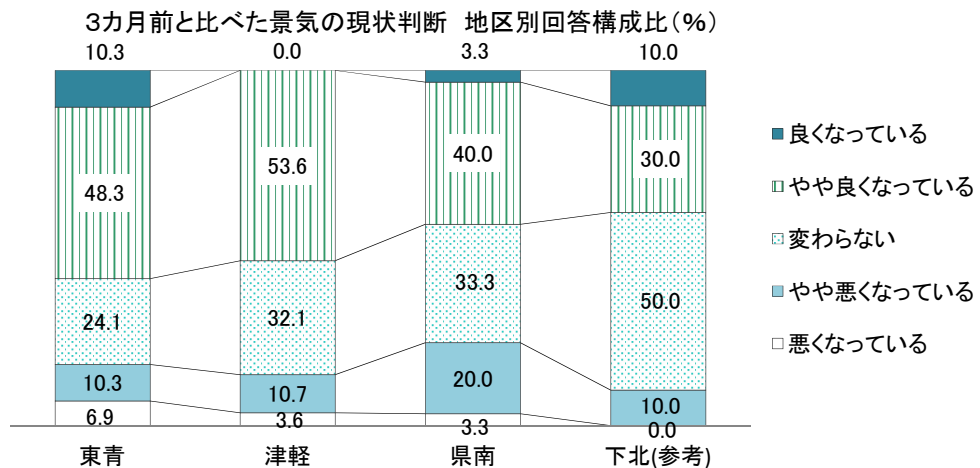
n = 97

	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	前期調査 との差
合 計	38.5	51.0	52.8	48.3	58.5	10.2
東青	38.3	60.8	58.3	48.3	61.2	12.9
津軽	41.4	48.3	49.2	44.2	58.9	14.7
県南	37.1	42.5	50.0	52.5	55.0	2.5
下北	35.0	55.0	55.0	47.5	60.0	12.5



② 地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北(参考)
良くなっている	10.3	0.0	3.3	10.0
やや良くなっている	48.3	53.6	40.0	30.0
変わらない	24.1	32.1	33.3	50.0
やや悪くなっている	10.3	10.7	20.0	10.0
悪くなっている	6.9	3.6	3.3	0.0



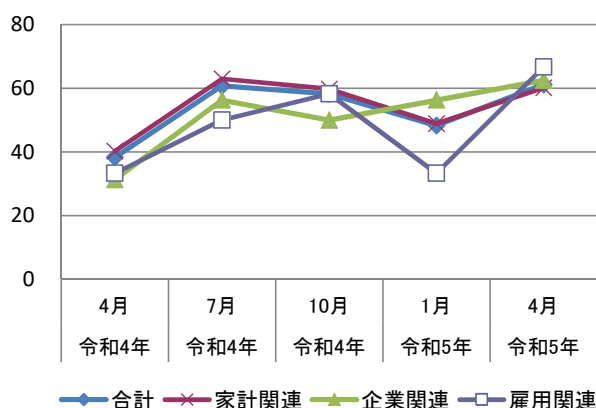
<東青地区>

①DI

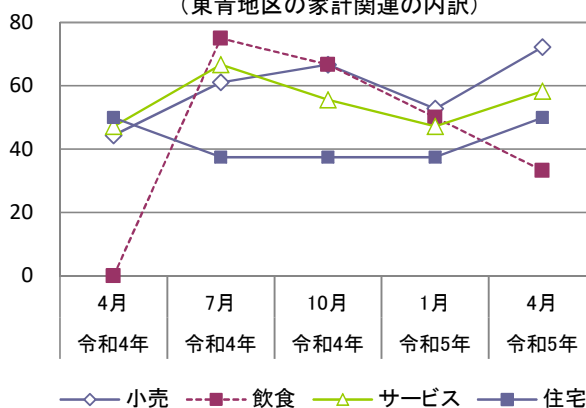
n = 29

	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	前期調査 との差
合計	38.3	60.8	58.3	48.3	61.2	12.9
家計関連	40.2	63.0	59.8	48.9	60.2	11.3
小売	44.4	61.1	66.7	52.8	72.2	19.4
飲食	0.0	75.0	66.7	50.0	33.3	▲ 16.7
サービス	47.2	66.7	55.6	47.2	58.3	11.1
住宅	50.0	37.5	37.5	37.5	50.0	12.5
企業関連	31.3	56.3	50.0	56.3	62.5	6.2
雇用関連	33.3	50.0	58.3	33.3	66.7	33.4

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区)



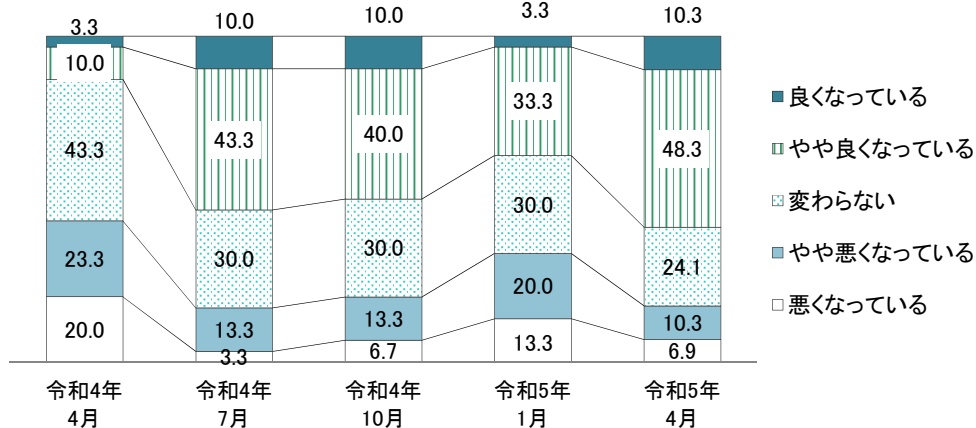
3カ月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	前期調査 との差
良くなっている	3.3	10.0	10.0	3.3	10.3	7.0
やや良くなっている	10.0	43.3	40.0	33.3	48.3	15.0
変わらない	43.3	30.0	30.0	30.0	24.1	▲ 5.9
やや悪くなっている	23.3	13.3	13.3	20.0	10.3	▲ 9.7
悪くなっている	20.0	3.3	6.7	13.3	6.9	▲ 6.4

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(東青地区)(%)



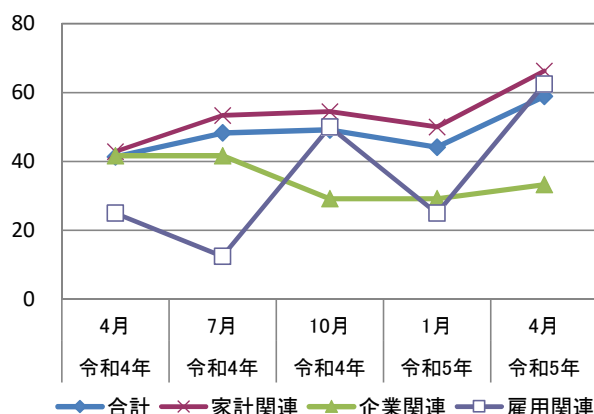
<津軽地区>

①DI

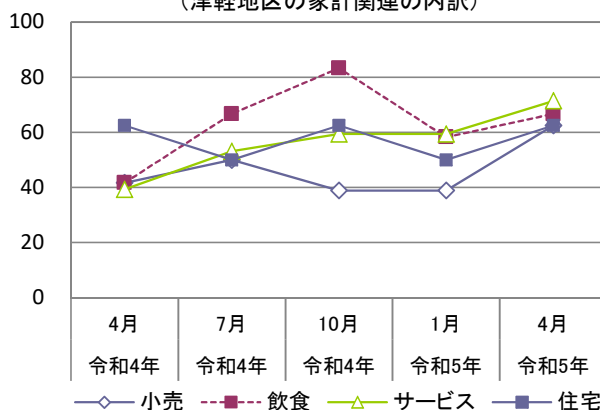
n=28

		令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	前期調査 との差
合 計	家計関連	41.4	48.3	49.2	44.2	58.9	14.7
	小売	42.9	53.4	54.5	50.0	66.3	16.3
	飲食	41.7	50.0	38.9	38.9	62.5	23.6
	サービス	41.7	66.7	83.3	58.3	66.7	8.4
	住宅	39.3	53.1	59.4	59.4	71.4	12.0
	企業関連	62.5	50.0	62.5	50.0	62.5	12.5
	雇用関連	41.7	41.7	29.2	29.2	33.3	4.1
雇用関連	25.0	12.5	50.0	25.0	62.5	37.5	

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(津軽地区)



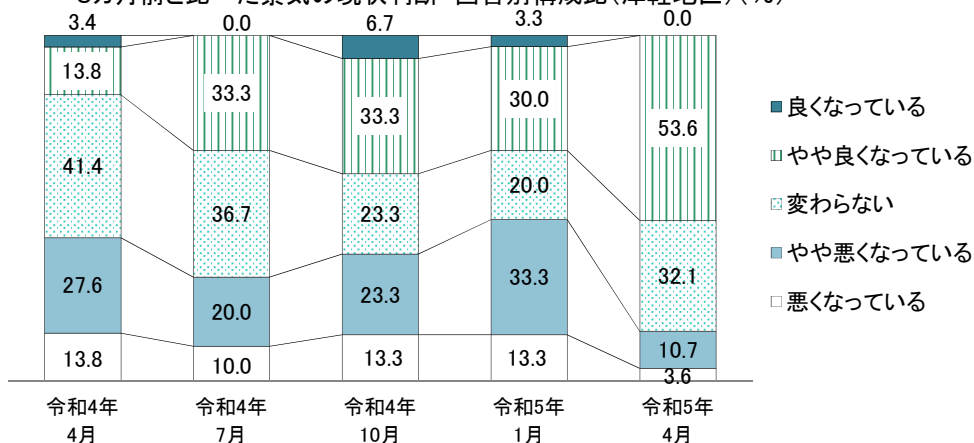
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	前期調査 との差
良くなっている	3.4	0.0	6.7	3.3	0.0	▲ 3.3
やや良くなっている	13.8	33.3	33.3	30.0	53.6	23.6
変わらない	41.4	36.7	23.3	20.0	32.1	12.1
やや悪くなっている	27.6	20.0	23.3	33.3	10.7	▲ 22.6
悪くなっている	13.8	10.0	13.3	13.3	3.6	▲ 9.7

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(津軽地区)(%)



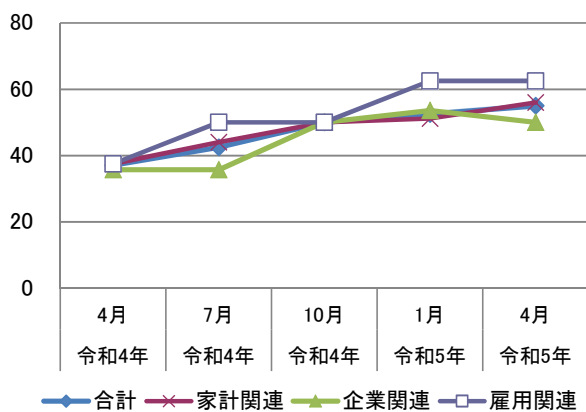
<県南地区>

①DI

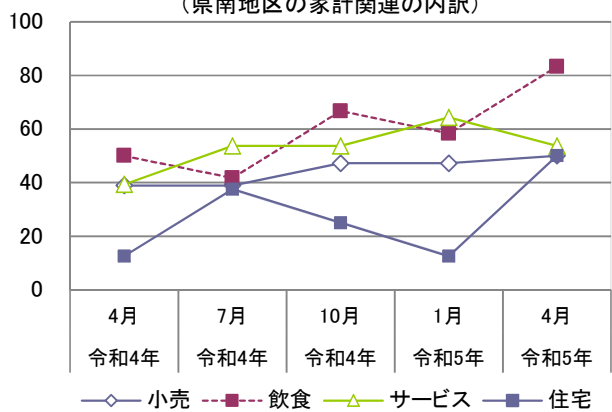
n = 30

	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	前期調査 との差
合 計	37.1	42.5	50.0	52.5	55.0	2.5
家計関連	37.5	44.0	50.0	51.2	56.0	4.8
小売	38.9	38.9	47.2	47.2	50.0	2.8
飲食	50.0	41.7	66.7	58.3	83.3	25.0
サービス	39.3	53.6	53.6	64.3	53.6	▲ 10.7
住宅	12.5	37.5	25.0	12.5	50.0	37.5
企業関連	35.7	35.7	50.0	53.6	50.0	▲ 3.6
雇用関連	37.5	50.0	50.0	62.5	62.5	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



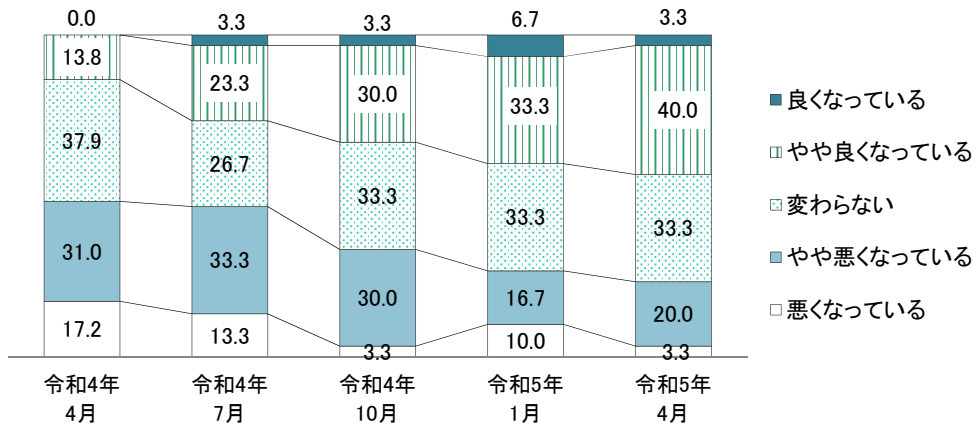
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(県南地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	3.3	3.3	6.7	3.3	▲ 3.4
やや良くなっている	13.8	23.3	30.0	33.3	40.0	6.7
変わらない	37.9	26.7	33.3	33.3	33.3	0.0
やや悪くなっている	31.0	33.3	30.0	16.7	20.0	3.3
悪くなっている	17.2	13.3	3.3	10.0	3.3	▲ 6.7

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区)(%)

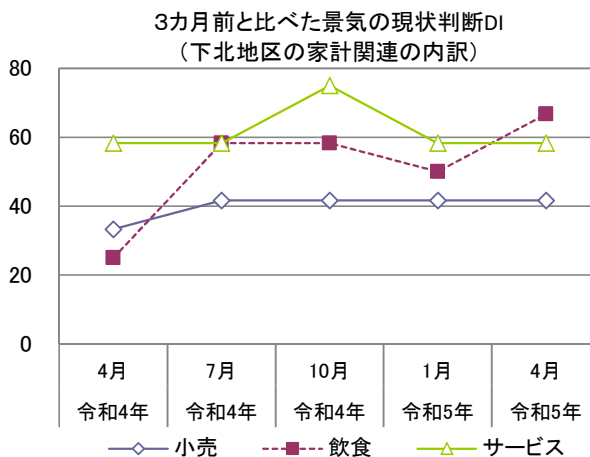
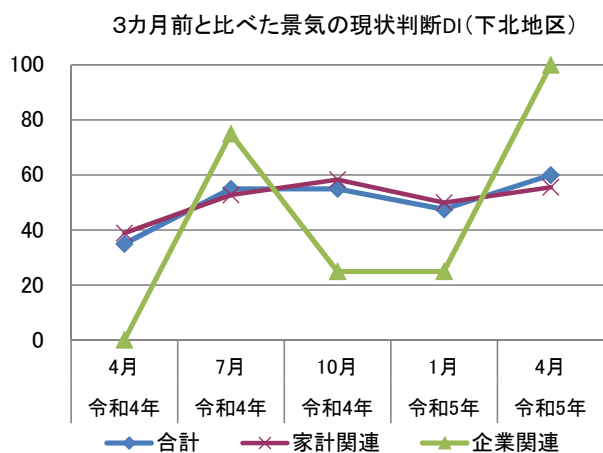


<下北地区> (参考)

①DI

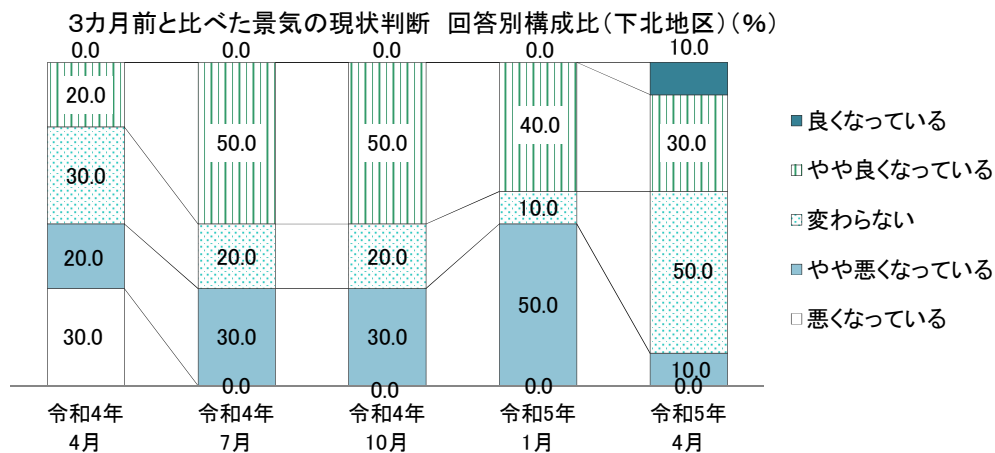
n = 10

	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	前期調査 との差
合計	35.0	55.0	55.0	47.5	60.0	12.5
家計関連	38.9	52.8	58.3	50.0	55.6	5.6
小売	33.3	41.7	41.7	41.7	41.7	0.0
飲食	25.0	58.3	58.3	50.0	66.7	16.7
サービス	58.3	58.3	75.0	58.3	58.3	0.0
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	0.0	75.0	25.0	25.0	100.0	75.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-



②回答別構成比 (%)

	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0
やや良くなっている	20.0	50.0	50.0	40.0	30.0	▲ 10.0
変わらない	30.0	20.0	20.0	10.0	50.0	40.0
やや悪くなっている	20.0	30.0	30.0	50.0	10.0	▲ 40.0
悪くなっている	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



(2) 3カ月後の景気の先行き判断 ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

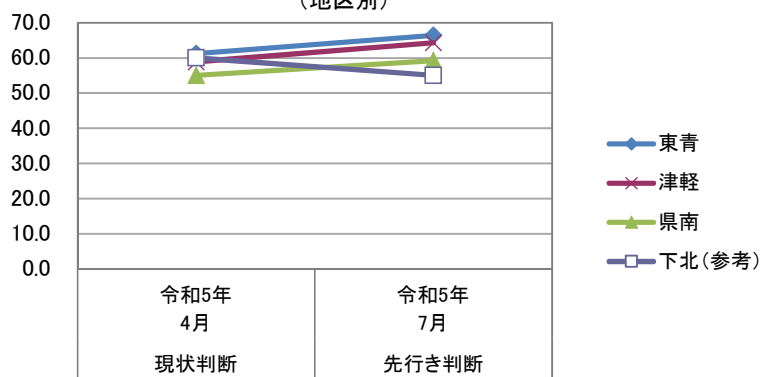
<地区別>

① 今期の現状判断DIと先行き判断DIとの比較

n = 97

	現状判断 令和5年 4月	先行き判断 令和5年 7月	差
合計	58.5	62.4	3.9
東青	61.2	66.4	5.2
津軽	58.9	64.3	5.4
県南	55.0	59.2	4.2
下北	60.0	55.0	▲ 5.0

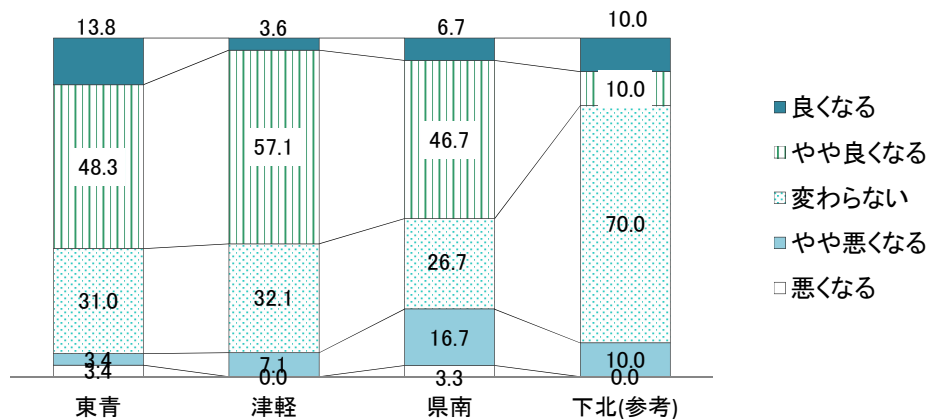
今期の現状判断DIと先行き判断DIとの比較
(地区別)



② 地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北(参考)
良くなる	13.8	3.6	6.7	10.0
やや良くなる	48.3	57.1	46.7	10.0
変わらない	31.0	32.1	26.7	70.0
やや悪くなる	3.4	7.1	16.7	10.0
悪くなる	3.4	0.0	3.3	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 地区別回答構成比 (%)



<東青地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 29

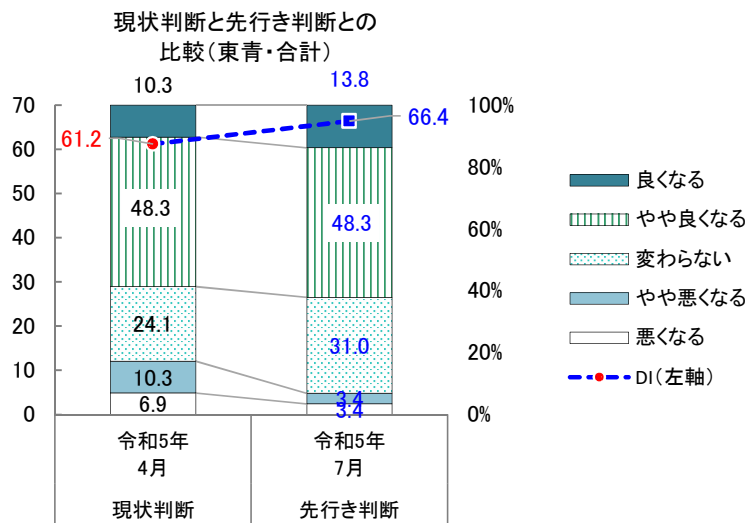
	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	令和5年 7月	前期調査 との差
合 計	53.3	54.2	52.6	45.8	66.4	20.6
家計関連	55.4	59.8	53.4	48.9	68.2	19.3
小売	58.3	69.4	63.9	63.9	75.0	11.1
飲食	66.7	66.7	75.0	50.0	75.0	25.0
サービス	52.8	52.8	41.7	38.9	61.1	22.2
住宅	37.5	37.5	37.5	25.0	50.0	25.0
企業関連	43.8	37.5	56.3	25.0	62.5	37.5
雇用関連	50.0	33.3	41.7	50.0	58.3	8.3

② 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和5年 4月	先行き判断 令和5年 7月	差
合 計	61.2	66.4	5.2
家計関連	60.2	68.2	8.0
小売	72.2	75.0	2.8
飲食	33.3	75.0	41.7
サービス	58.3	61.1	2.8
住宅	50.0	50.0	0.0
企業関連	62.5	62.5	0.0
雇用関連	66.7	58.3	▲ 8.4

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和5年 4月	先行き判断 令和5年 7月	差
良くなる	10.3	13.8	3.5
やや良くなる	48.3	48.3	0.0
変わらない	24.1	31.0	6.9
やや悪くなる	10.3	3.4	▲ 6.9
悪くなる	6.9	3.4	▲ 3.5



<津軽地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 28

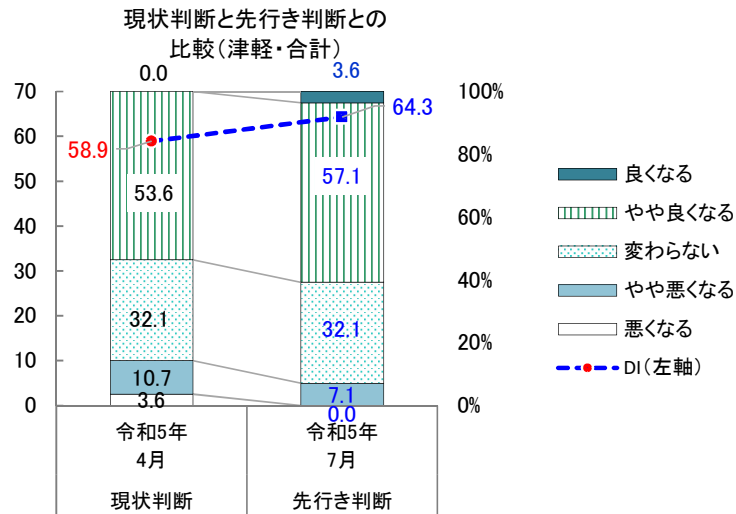
	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	令和5年 7月	前期調査 との差
合 計	50.9	45.8	51.7	51.7	64.3	12.6
家計関連	48.8	50.0	56.8	55.7	68.8	13.1
小売	41.7	41.7	44.4	50.0	65.6	15.6
飲食	41.7	66.7	83.3	58.3	66.7	8.4
サービス	64.3	56.3	59.4	62.5	75.0	12.5
住宅	37.5	37.5	62.5	50.0	62.5	12.5
企業関連	50.0	29.2	29.2	37.5	45.8	8.3
雇用関連	75.0	50.0	62.5	50.0	75.0	25.0

② 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和5年 4月	先行き判断 令和5年 7月	差
合 計	58.9	64.3	5.4
家計関連	66.3	68.8	2.5
小売	62.5	65.6	3.1
飲食	66.7	66.7	0.0
サービス	71.4	75.0	3.6
住宅	62.5	62.5	0.0
企業関連	33.3	45.8	12.5
雇用関連	62.5	75.0	12.5

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和5年 4月	先行き判断 令和5年 7月	差
良くなる	0.0	3.6	3.6
やや良くなる	53.6	57.1	3.5
変わらない	32.1	32.1	0.0
やや悪くなる	10.7	7.1	▲ 3.6
悪くなる	3.6	0.0	▲ 3.6



<県南地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 30

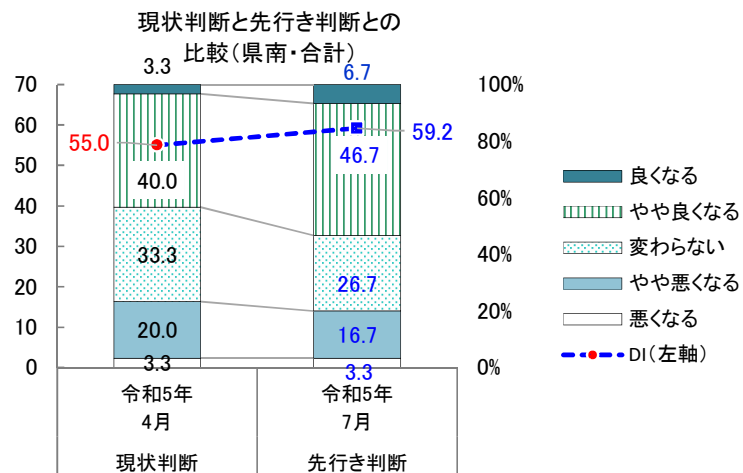
	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	令和5年 7月	前期調査 との差
合 計	43.1	40.0	45.8	53.3	59.2	5.9
家計関連	47.5	39.3	45.2	54.8	63.1	8.3
小売	50.0	41.7	41.7	50.0	52.8	2.8
飲食	62.5	33.3	58.3	50.0	91.7	41.7
サービス	50.0	46.4	53.6	64.3	64.3	0.0
住宅	12.5	12.5	12.5	50.0	62.5	12.5
企業関連	32.1	39.3	42.9	46.4	46.4	0.0
雇用関連	37.5	50.0	62.5	62.5	62.5	0.0

② 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和5年 4月	先行き判断 令和5年 7月	差
合 計	55.0	59.2	4.2
家計関連	56.0	63.1	7.1
小売	50.0	52.8	2.8
飲食	83.3	91.7	8.4
サービス	53.6	64.3	10.7
住宅	50.0	62.5	12.5
企業関連	50.0	46.4	▲ 3.6
雇用関連	62.5	62.5	0.0

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和5年 4月	先行き判断 令和5年 7月	差
良くなる	3.3	6.7	3.4
やや良くなる	40.0	46.7	6.7
変わらない	33.3	26.7	▲ 6.6
やや悪くなる	20.0	16.7	▲ 3.3
悪くなる	3.3	3.3	0.0



<下北地区> (参考) ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 10

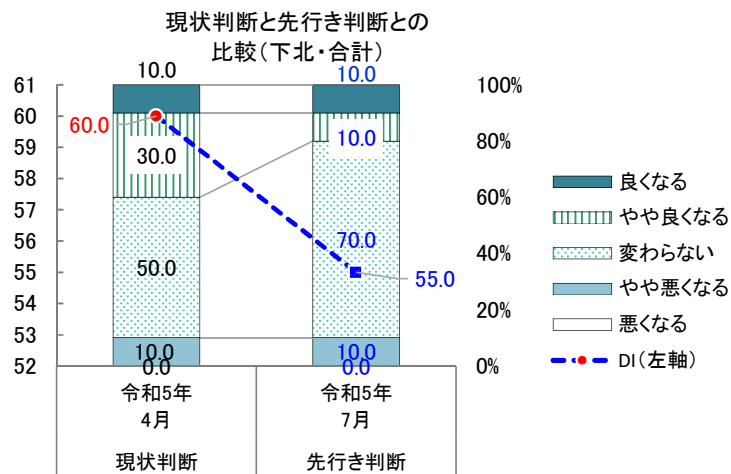
	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	令和5年 7月	前期調査 との差
合計	60.0	50.0	40.0	47.5	55.0	7.5
家計関連	63.9	47.2	41.7	50.0	50.0	0.0
小売	58.3	25.0	8.3	41.7	41.7	0.0
飲食	58.3	58.3	66.7	50.0	58.3	8.3
サービス	75.0	58.3	50.0	58.3	50.0	▲ 8.3
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	25.0	75.0	25.0	25.0	100.0	75.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

② 今期の現状判断D Iと先行き判断D Iとの比較

	現状判断 令和5年 4月	先行き判断 令和5年 7月	差
合計	60.0	55.0	▲ 5.0
家計関連	55.6	50.0	▲ 5.6
小売	41.7	41.7	0.0
飲食	66.7	58.3	▲ 8.4
サービス	58.3	50.0	▲ 8.3
住宅	-	-	-
企業関連	100.0	100.0	0.0
雇用関連	-	-	-

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和5年 4月	先行き判断 令和5年 7月	差
良くなる	10.0	10.0	0.0
やや良くなる	30.0	10.0	▲ 20.0
変わらない	50.0	70.0	20.0
やや悪くなる	10.0	10.0	0.0
悪くなる	0.0	0.0	0.0



4. 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
良くなっている	家計	東青	観光名所等	全国旅行支援やJ Rのお得な切符、水際対策緩和、チャーター機、クルーズ客船などもあり入館者数が増加した。特に3月はオープン以降の3月で一番の入り込み数となった。
		東青	広告・デザイン	
	企業	下北	食料品製造	去年よりお客さまの出入りが多いように思うことから良くなっているのではと思いました。
やや良くなっている	家計	東青	卸売業	飲食店向け商品が今年の倍で動いている。家庭用商品も昨年並みの動き。
			百貨店・スーパー	売上高・入店客数も前年対比で増加。
			娯楽業	例年より早い雪解けと、コロナウイルス感染症の鎮静化効果か、2月末あたりからお客様の戻りが良くなりました。
			衣料専門店	コロナ問題がひと段落から、控えていた各種会合、卒入学式典、披露宴など儀式が増えスーツ等の新調が増えている。
			一般飲食店	長くコロナ禍が続いていますが、政府の対応も緩和されるのに伴いそれに加えて、送別会シーズンになって人も少し動きました。
			商店街	コロナも落ち着き、インバウンドや県外のお客様を含め、人の動きが活発になってきており、マインドも明るくなってきています。
			都市型ホテル	宿泊は全国旅行支援の後押しでビジネスが順調、インバウンドの後押しもあり、一定の需要が継続している。飲食部門も企業の歓送迎会等の動きが活発化の兆しを感じます。
			美容院	春という事で卒業、新学期という行事があるので人の動きはあります。
			家電量販店	光熱費の高止まりや相次ぐ食料品、日用消耗品等の値上げにより、個人消費は依然として低迷の状態にあると見受けられますが、マスク着用が個人判断となったことをはじめ、コロナによる生活、行動制限が緩和しつつあり、特に旅行・観光需要等中心に景気は幾分か上向きになっているように感じられます。
		旅行代理店	仕事の量も増え数字も増えてきた。	
		津軽	観光名所等	外国人の施設利用者が多くなりました。世界から個人客や団体が本格的に増加し始めた。国内ツアー客が若干上回ってきた。
			ガソリンスタンド	当社の商品であるガソリン等の売上げが徐々に増加してきている。また、弘前公園桜祭りの影響もあり、観光客が増加してきており、それに伴う売上げ増もみられる。
			商店街	街に人の姿が増えた。飲み会などの頻度も増加し、以前よりは経済が少しずつ回っているように感じる。
			旅行代理店	団体旅行の動きがある。
			レストラン	アフターコロナの影響で、少しずつ飲食店の利用客が増えている。小規模の宴会利用も増えてきた。
			美容院	コロナからの解放感があり街に人出が帰って来た。活気があるように感じる。
娯楽業	お客さんの動きが少し活発化してきた。			

やや良くなっている	家計	津軽	百貨店・スーパー	コロナ禍が落ち着き、催事等が各地で実施され、人流が良くなった。電気代の高騰は継続しているが、冬季期間も終わり、灯油代に対しての経費が削減されているから。
		県南	百貨店・スーパー	インフレによる単価アップ、売上アップはある。しかし、電気ガスを中心としたコスト上昇が経営を圧迫している。
			ガソリンスタンド	コロナ感染症が落ち着いてきたことから、人流が増加傾向であり往来が活発になっているように見える。
			スナック	客数が増えているので。
			旅行代理店	マスク着用が緩和され、外食や旅行をしても良いかなという世の中の雰囲気になってきた。
			百貨店・スーパー	コロナの状況がいったん落ち着きを見せ、様々なイベントや外出機会等が増加している。
			一般飲食店	コロナも休息し、気候も過ごしやすい状態で、外に出てきやすい環境が整ってきているのも好要因かなと感じております。
			卸売業	飲み会などの集まりが増えていると感じる。
	下北	都市型ホテル	コロナウイルス感染症の規制も緩み、会合や会食が徐々に戻りつつあります。まだコロナ禍以前程の件数には及びませんが、3月の歓送迎会も久々開催する団体も増えてきてます。	
	企業	津軽	経営コンサルタント	雪解けが割と早かったこともあり市内の飲食店・小売り販売等への人出は、かなりコロナ禍前に戻ったような活気を見せている。もったいないのが、弘前さくらまつり期間前に桜が満開になってしまったために観光客の人出に影響がないかと心配なところではあります。
		県南	飲料品製造	新型コロナウイルスの感染状況も改善、マスク着脱の議論も盛ん、ホテルで大人数での会合も徐々に再開し、夜の街のにぎわいも戻りつつある。また春先の旅行シーズンに人の動きもはっきりと見えるようになってきた。正常に戻りつつある感覚となった。
			建設	コロナも終息に向い、ノーマスクが個人の判断にゆだねられたことから、送別会や新入社員歓迎会などのイベントも多く開催された。また、桜の開花も例年より2週間も早く訪れたことで、4月には外出が多く見られて景気の上昇ムードは見られる。
			経営コンサルタント	製造業(水産加工業)においては、エネルギー価格の高止まり、原材料不足により生産活動が停滞しているが、宿泊、飲食、観光業については、コロナの影響がほぼ払拭されつつある。
	雇用	東青	人材派遣	景気流動に合わせて、各企業からの求人オーダーが増加。また求職者も少なく人材不足が顕著に見えてきている。
津軽		新聞社求人広告	極端な桜の早咲きで春観光が早まった影響で、ホテル・旅館、飲食業などが好調な滑り出しをみせている。	
県南		新聞社求人広告	政府がイベントの開催制限を撤廃するなど、イベント開催に対する制約などが無くなったため。	
変わらない	家計	東青	設計事務所	少雪により建築の修復工事等早々動きがありましたので各種の経済活動は早まったように見受けられました。時折県外スキー場に行きますが週末でさえスキーヤーが少なく愕然とします。高速上の車もまばらでこれが現在の経済状況を物語る一面と捉えております。
		百貨店・スーパー	商品の値上げが続き、単価は上がるが販売点数は落ちている。必要以上のものは買わない傾向が続いています。	

変わらない	家計	東青	コンビニ	客数は少し多い気がしますが、値上げが多い為客単価は下がっている気がする。
		津軽	卸売業	物価高の影響が大きい。
			スナック	物価高やコロナ、選挙の影響がある。
			設計事務所	昨年春から建築業界は景気がとても良い状態です。それが継続してる状態であると感じます。我が社も人手が足りない状態が続いておりましたがやっと今春から技術職員を増やすことが出来ました。
			一般小売店	前四半期も今四半期も前年比トントンでほぼ同じです。コロナが落ち着いてきたが、諸物価が値上がりしているの、当店の様な扱い商品に回せる消費額が減っているように感じる。
		県南	観光名所等	当産直は、コロナと物価高等に影響されず、観光客も例年並みで、大きな変化はみられない。
			設計事務所	物価高が影響し、利益が生めない。
			タクシー	コロナも多少も落ち着きを見せ始め、会社の業績もコロナ前（2019年以前）にゆっくり、ゆっくりと戻りつつあることは確かだが、為替の影響、ウクライナ紛争など多くの問題による物価の高騰など、生活面では決して景気が良くなっていると実感できる状態ではないと思われる。
			乗用車販売	原油・原材料等の高騰で、食料品及び生活用品にまで影響が続いており、4月から再度に渡り、食品・生活用品が値上がり、消費者の購買意欲が低下する。
			家電量販店	3月、4月は新生活に向けての家電製品(冷蔵庫、洗濯機、レンジ)やパソコン、スマートホンが好調、他県配送が多い。
			商店街	電気料金の値上げが未決定、また、ほとんどの商品が値上がり傾向にあるから。
		下北	タクシー	物価高・燃料高騰でも、給料は変わらない為。
	一般飲食店		都会や大きな町のように観光客も来る気配もないし町自体がすたるような気がします。勝気がない。	
	ガソリンスタンド		コロナが収まったかと思ったら物価高。それに加えて選挙続きで夜の会合を控える動きもあるので一長一短といった感じではないでしょうか！？	
	企業	東青	経営コンサルタント	コロナの影響がやや軽減され、全国旅行支援の後押しもあり、観光客は戻りつつある。物価高に備えるため、インフレ手当等を支給する企業も出始めており、景気の上向き感があるものの、食品の相次ぐ値上げが続く、4月は約5,000品目の値上げがあり、景気の上向き感を帳消しにしていると思われる。
			食料品製造	コロナの規制緩和で観光客、帰省客は増加しているようです。しかしながら各種の値上げがあり、特に食品に関しては財布の紐は非常に厳しい状況に感じます。
			建設	物件数の減少と、原価高騰による利益低下が続いています。今年中は同じ状況と考えます。
		県南	広告・デザイン	コロナも落ちつき、イベントもやる様になってきましたが売上のコロナ前に比べれば厳しいと言わざるを得ない。
	雇用	東青	新聞社求人広告	値上がり品目の増加、社会情勢不安などによる消費意欲の低迷が続いている。

変わらない	雇用	県南	人材派遣	私の業種（人材紹介業）からすると、求人の依頼数は多いので、一見すると景気が良い感じもするが、実際には人手も足りていない現場（お客様）も多く、また昨今の材料・燃料高騰の影響もあり、苦勞している企業様が多い様に感じます。
やや悪くなっている	家計	東青	娯楽業	最近の売上状況は、3カ月前と比較すると全体的に下がってきているため。2月下旬頃から、そのような状況となっている。
			レストラン	4月に入ってから、材料の値上げなど、一般の商品も、値上げ続きで外食も値上げしてるので、慣れるまで、控えるのかな？
	県南	美容院	食材の高値のせいか、来店期間が若干伸びている様に感じる。	
		百貨店・スーパー	電気料金が天文学的数字な為。生活に直接関連している食料品の値上がりがたくさんある為。上記に見合った収入には、必ずしもなっていないと感じる為。一部の報道ではN%アップとか、N円増とありますが、当地方は元々の金額が低いと感じます。	
		コンビニ	電気代、物価の上昇。	
	下北	コンビニ	玉で買いにくるお客さんが増えた。	
	企業	津軽	食料品製造	値上げによる買い控え。
県南		食料品製造	物価高による消費者の節約志向。	
悪くなっている	家計	東青	タクシー	個人消費が悪化している上、コロナ過の制約が払しょくされているにも関わらず人流は今一つといった状態。全ての原因は物価の上昇にあると感じています。つまり人々の懐具合に余裕が無さすぎるという面が大きいのでしょう。
	企業	県南	電気機械製造	中国向け部品が不調だったのに加えて、欧州向けも5月に大入り大さく落ちこんだ。原因は金利上昇とエネルギー高に加えて、欧米と中国の不仲

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなる	家計	東青	一般小売店	アフターコロナが本格化していくと思われるから。
			旅行代理店	コロナの数も減り、人の動きも活発となり夏にむけ消費も良くなると思う。
			観光名所等	国内移動の増加に加え、外国人旅行客が増加と思われる。桜の開花がGWと大きくずれ込んでいるが、クルーズ客船の寄港が復活している。
		津軽	商店街	弘前市はさくらまつりの規制も緩やかになり、ねぶた祭りの時期直前ですから、コロナ前に一番近い状態になると思います。
		県南	レストラン	三社大祭、七夕、花火大会など、イベント等の催しがあり、帰省のお客も増え、売上げが上がると期待しています。
			スナック	人が出てきているので。
企業	東青	広告・デザイン	青森県、県都・青森市の新生首長の手腕に期待を寄せて。	
	下北	食料品製造	コロナも落ちつきはじめ、イベントなどの予定がある事から良くなるのではないかと思います。	
やや良くなる	家計	東青	一般飲食店	これまで3年も続いたコロナ禍ですのでバツと変化はしないと思いますが徐々に人の動きももどってくる感じに思えます。
			娯楽業	2月末から現在まで横ばいで推移しているので。
			百貨店・スーパー	5/8～コロナウイルス対策の緩和、観光・イベント等による外出の増加が見込まれる為。
			衣料専門店	コロナ過の緩和から観光客、ビジネスの来街者が増えている。春の連休桜祭り、夏のねぶた祭り等で益々の景気浮揚が期待できる。青森市中心商店街区では4月25日に中三跡地に複合施設がオープン。加えて5月5日には街路を交通規制し「AOMORI春フェスティバル」が開催される。又、商店街連合のセールスイベント「レシート・ウオーク・ラリー」も開催されるなどお客様サービスに積極的に取り組む。
			レストラン	これから、春本番になるので、人の動きに期待したい。
			卸売業	観光客等、夏のお祭り等の行事でかなりの売上げが見込める。
			美容院	コロナも少しずつ慣れる事で行動もそれなりに多くなったような気がします。
			家電量販店	今後は花見やアウトドア等をはじめ、行楽シーズンが訪れるとともに、コロナが第五類に引き下げとなることもありこれまで中止ないし規模縮小としていたイベントや各種行事はコロナ以前同等の規模まで回復すると見込まれます。これに伴い、出足増加による経済活動の活発化が見込まれ、物価高は依然として私生活を圧迫しつつも、景気は上昇するものと予測されます。
			百貨店・スーパー	コロナによる制限も緩和され、人の動きは戻りつつある。業種によって差はあるものの全体としては上向きになると思います。
			津軽	設計事務所
		観光名所等	コロナが収束しつつある。	

やや良くなる	家計	津軽	レストラン	旅行支援割引が6月末まで延長となり、宿泊客の増加が見込まれる為。
			コンビニ	さくら祭りやイベント等があればコンビニエンス・ストアは売上が上がって少しは良くなるのではないかと思います。
			ガソリンスタンド	コロナが収束方向にあり、だんだん暖かくなってきていることから、今後も外出等の増加が予想され、それに伴う売り上げ増加が予想される。
			娯楽業	お客さんの動きが少し活発化してきた。
			美容院	物価高の影響は確かにあるが、値上げに社会が慣れてきたかも。
			百貨店・スーパー	コロナが落ち着き、多方面でインバウンド客・観光が見込める環境に有る為。事業により異なるが、一部値上げが実施されることも考えられる。
		県南	旅行代理店	全ての行動を制限してきた今、気をつけながらではありつつも楽しもうという考えになってきている。
			タクシー	近々の報道を見ていると、国の企業への賃上げ要請、大手企業の昇給のニュースなど、明るい兆しも多少見受けられ、中小企業にも少しでも波及して貰えそうな雰囲気が多いと思われる。
			卸売業	これから新年会等の集まりが増え、御中元ギフト特需の時期も来るため。
			家電量販店	電気代高騰や物価高が続くようだと、消費に影響は出ると思いますが省エネ家電は期待できる。
	ガソリンスタンド		コロナ感染症の五類への引き下げにより、行動の制約が緩和されることから、景気には良い影響となるものと思われる。	
	美容院		例年より花見期間が早まったり、新年度の予算施行によって明るくなると思う。	
	住宅建設販売		給料が上がる話が多い。	
	乗用車販売		自動車生産に関しては、部品調達遅れが徐々に回復傾向にあることと、国内向け生産調整がとられたことで、自動車の供給にも兆しが見えている。	
	百貨店・スーパー		コロナの状況がいったん落ち着きを見せ、様々なイベントや外出機会等が増加する状況がさらに加速していくと考えられるから。	
	一般飲食店		選挙の時は、芳しくないデーターがありますが、これだけコロナが落ち着けば今まで家で我慢していたのが、外に出てきやすい、出てきたい等環境が整ってきつつある感がある。これから、各々の値上げがあります。生活が逼迫します。コロナ前までは回復は望めない。	
	下北	一般飲食店	今日入ってすこしは上向きかげんかなあと思うところがあります。	
	企業	東青	食料品製造	桜の開花は早すぎて 桜祭りのタイミングは合いそうにありませんがレジャーにくりだすファミリーが増えそうです。
		津軽	電気機械製造	新規モデルの生産が始まって行くため。
		県南	飲料品製造	さらに活動がコロナ以前のように正常化していく気配が感じられ、ある程度まで期待が持てるが、様々なモノの値上がりが続きさらに影響が大きくなっていくだろうと予測がつき、それがブレーキになるのではないかと？

やや良くなる	企業	県南	建設	卵不足、電気料金値上げ、原油高、食料品値上げなど負の影響は今後も懸念されるものの、GWは最大9連休の企業も多くあり、またコロナの終息に伴い自粛ストレスが解放され、旅行やレジャー、外食に出かける人は多くなるのは必至だと思う。
	雇用	津軽	新聞社求人広告	インバウンドや脱コロナを歓迎する旅行好き、家族連れでものが動く。津軽圏域14市町村を対象にした大手鉄道会社の観光キャンペーンにも期待をしたい。
			人材派遣	新型コロナ感染者数も減少傾向にあり、開放感も増し人々の外出の機会も増えて、消費に好影響を与えると思う。弘前桜祭りも規制なく3年ぶりに通常開催されることも好材料。ただ相変わらず続くの物価高が気になるところ。
		県南	新聞社求人広告	政府がイベントの開催制限を撤廃するなど、イベント開催に対する制約などが無くなったため。
変わらない	家計	東青	商店街	人の動きは一層活発になると予想されますが、商品価格の高騰（物価高）が消費行動への大きな懸念材料と感じています。
			設計事務所	生活市場は未だに値上がりの告知が続いておりますが、新年度を迎え経済活動が動き始めましたのでこの先の景況感に実質の明るさができることを期待しています。
			都市型ホテル	宿泊は全国旅行支援の後押しでビジネスが順調、インバウンドの後押しもあり、一定の需要が継続しており、飲食部門も企業の歓送迎会等の動きが活発化の兆しが持続すると見込んでいるため。
		津軽	一般飲食店	増税への不安でなかなかお金が回りにくい。
			一般小売店	円安が是正されてきたので、物価上昇も一服するのではないか、というよりは物価が何とか上がらないことを願うばかりです。
			乗用車販売	コロナ以前の消費にはまだ先が長い。
			家電量販店	物価上昇による購買力への圧迫がまだ下押しされている。
			住宅建設販売	お客様の動向が、芳しくなって来た。コロナ明け、マスク解禁等が功を奏している感じ。
		県南	観光名所等	天候に左右される商品扱いなので、大きな変動がないと思われる。
			百貨店・スーパー	外食・観光・土産等が活発になると予想される反面、値上げ、電気ガス代の上等により、普段の食の節約志向が高まると予想。
			商店街	好転するような材料が見当たらないから。
			設計事務所	戦争終了まで難しいのでは。
		下北	都市型ホテル	コロナウイルス感染症が完全に終息したわけでもなく、以前程規制されないとしても自粛の方向に向かう可能性もあると思います。又、物価上昇での買い控え等景気上昇の雰囲気は感じられない。
			ガソリンスタンド	やはりコロナが収まり行動が増えても物価高が続くとなかなか良くはならないのでは...
			タクシー	物価高・燃料高騰でも、給料は変わらない為。
			百貨店・スーパー	まだ続く値上げによる物価高、電気料の値上げが控えているため支出を抑える傾向ある一方、確実に外出機会が増えてくるため関連支出も増。
コンビニ	給料が上がらず、公共料金が上がったと言っているお客さんが多くなった。			

変わらない	企業	津軽	広告・デザイン	あまり変化が見られないのが現状で、今後の具体的な景気回復の兆しが見られないのが個人としての考えであるため。テレビCM等出している企業も多少変わったように感じるが、ピークタイムやゴールデンタイムの物は変わらず大手の会社のみが出ているように思う。 中小企業に関して余力がないのが現状だからこそ、広告費に対して大きく手を加えられない。そこから今後の景気回復はどうか、向上していくのか予測ができない。
			食料品製造	物価高による生活の圧迫。
		県南	広告・デザイン	景気は、良くなって来るだろうと思うが、コロナ融資の返済が始まっている現在、売上が伴わないと苦しい状況は続く。
			紙・パルプ製造	物価高等の経済への影響は継続。
	経営コンサルタント	ウクライナの戦争の長期化で、エネルギー価格の高騰がしばらく継続すると思われるから製造業においては、厳しい状況が継続すると思う。		
雇用	東青	新聞社求人広告	新型コロナウイルスがようやく収束しつつあり、人やモノの動きは回復しはじめたように見えるが、一方でさまざまな製品、サービスの値上がり、燃料価格の高止まりが当面続き、プラスマイナスゼロのような状況が続くのでは。賃金、収入の増加は値上がり分を補うにはほど遠い印象があり、苦しい状況が続くと思う。	
やや悪くなる	家計	県南	一般小売店	インフレ容認、人件費アップを求めるだけで、景気対策の具体案が全く示されていないので。
			コンビニ	人口減少、人手不足。
		百貨店・スーパー	電気料金が天文学的数字な為。生活に直接関連している食料品の値上がりがたくさんある為。上記に見合った収入には、必ずしもなっていないと感じる為。一部の報道ではN%アップとか、N円増とありますが、当地方は元々の金額が低いと感じます。	
	企業	東青	経営コンサルタント	食品の値上げが4月以降も続くことが予想され、さらに、電気料金の値上げも発表された。飲食店やスーパー関連では、人手不足による人件費の増加が背景にあり、ますます、景気が下振れする要因が増加している。
			津軽	4月1日突然、ホテルやクリーニング店等の破産手続き開始が公表され弘前市民に大きな衝撃を与えました。いずれも従業員数が多い企業なため多くの失業者が発生したことになります。3月末で雇用調整助成金の緊急対応期間の経過措置期間も完全に終了し、営業状態が回復できない企業や多額の負債の解消が見込めない場合は、今後も同様に破産手続きの公表や従業員の解雇が発生するのではないかと懸念されます。
		県南	食料品製造	消費者の節約志向。
			タクシー	長時間働くな、休みは増やせ、AIやDXを活用せよ・・・では人間の働く場が減ってしまう一方の様な気がします。例え賃金の額は低くても、高次元のスキルを持ち合わせていない人間でも、それぞれのポジションでより多くの人が働けるように環境が整備され、しかも物価も低めに抑えられている方が景気向陽という面から見ればよほど効果があるのかもしれない。
悪くなる	家計	東青	タクシー	長時間働くな、休みは増やせ、AIやDXを活用せよ・・・では人間の働く場が減ってしまう一方の様な気がします。例え賃金の額は低くても、高次元のスキルを持ち合わせていない人間でも、それぞれのポジションでより多くの人が働けるように環境が整備され、しかも物価も低めに抑えられている方が景気向陽という面から見ればよほど効果があるのかもしれない。
	企業	県南	電気機械製造	戦争は長期化、原油は高止まり、(他国は)金利大幅上昇。加えて日本は変革に乏しく、税や社保の負担ばかり増える。世界的に投資冷え込みの状況である。

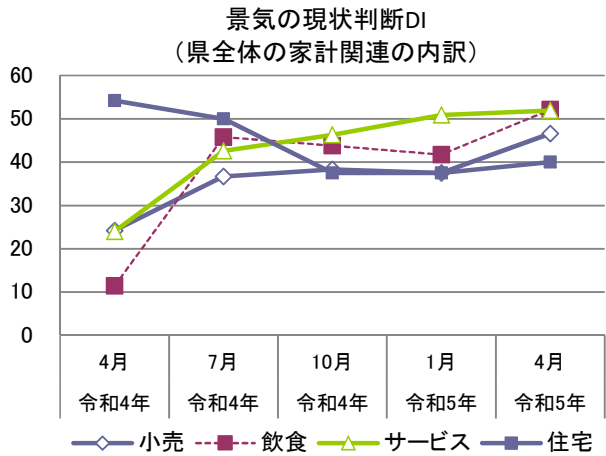
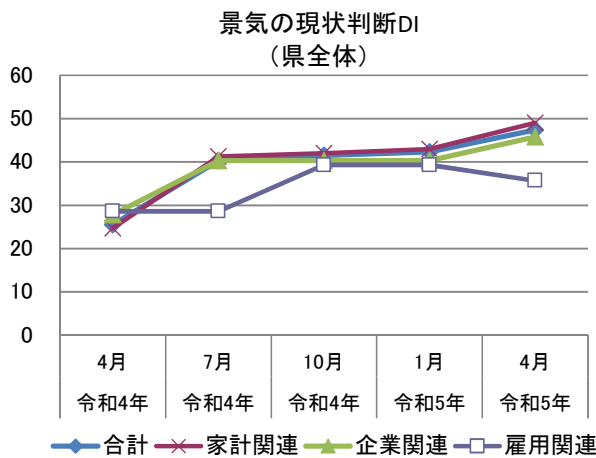
5. 参考

(参考1) 景気の現状判断

① D I

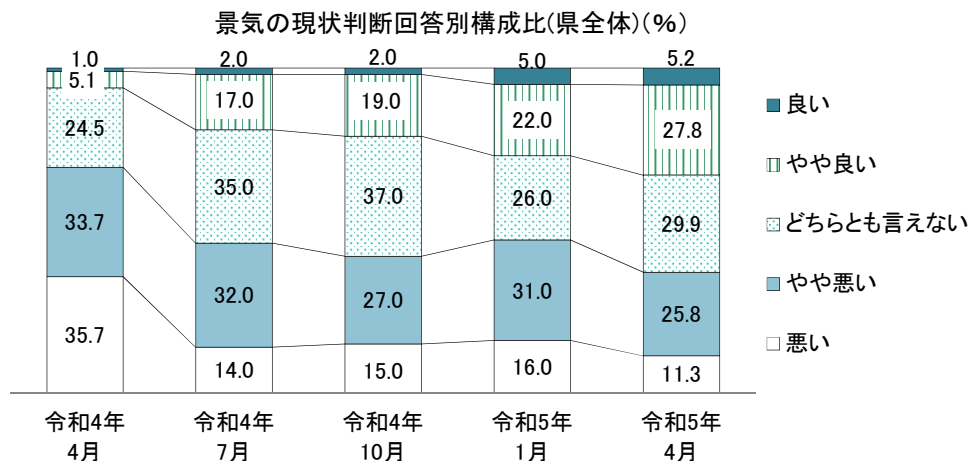
n = 97

	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	前期調査 との差
合計	25.5	40.3	41.5	42.3	47.4	5.1
家計関連	24.7	41.3	42.0	43.0	49.0	6.0
小売	24.2	36.7	38.3	37.5	46.6	9.1
飲食	11.4	45.8	43.8	41.7	52.1	10.4
サービス	24.0	42.6	46.3	50.9	51.9	1.0
住宅	54.2	50.0	37.5	37.5	40.0	2.5
企業関連	27.8	40.3	40.3	40.3	45.8	5.5
雇用関連	28.6	28.6	39.3	39.3	35.7	▲ 3.6



② 回答別構成比 (%)

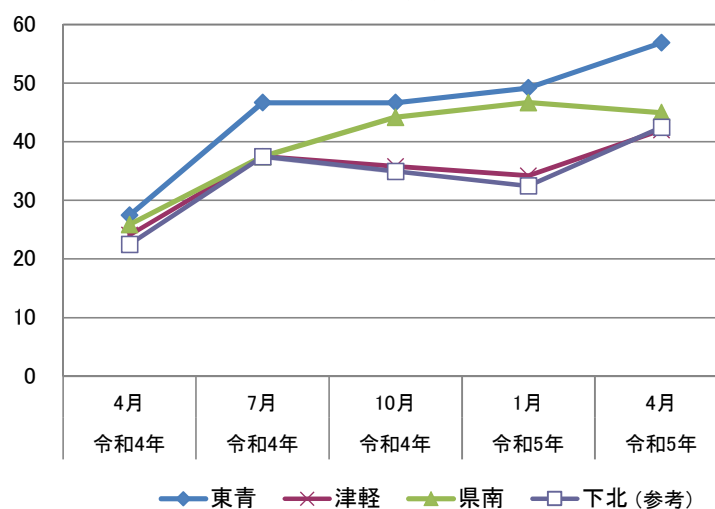
	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	前期調査 との差
良い	1.0	2.0	2.0	5.0	5.2	0.2
やや良い	5.1	17.0	19.0	22.0	27.8	5.8
どちらとも言えない	24.5	35.0	37.0	26.0	29.9	3.9
やや悪い	33.7	32.0	27.0	31.0	25.8	▲ 5.2
悪い	35.7	14.0	15.0	16.0	11.3	▲ 4.7



③地区別DI

	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	前期調査 との差
合 計	25.5	40.3	41.5	42.3	47.4	5.1
東青	27.5	46.7	46.7	49.2	56.9	7.7
津軽	24.1	37.5	35.8	34.2	42.0	7.8
県南	25.9	37.5	44.2	46.7	45.0	▲ 1.7
下北	22.5	37.5	35.0	32.5	42.5	10.0

景気の現状判断DI
(地区別)



(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	レストラン	今年は桜の開花が異常に早く、お花見弁当も企画していたが食材の確保が間に合わなく断念した。
		観光型ホテル・旅館	お客様から県内の一部鉄道でS u i c a が使えない事への不満が更に目立つようになった。青森市営バスでも既に利用可になっているから余計に際立っているのかもしれないが、観光客誘致の点ではもはや格差といえるのでは？青森県からぜひ前向きに導入を促してもらいたい。
		娯楽業	物価上昇が感じられます。
	津軽	観光型ホテル・旅館	青森おでかけキャンペーンの延長を希望。
		観光名所等	管内温泉トラブル余韻、管内大手ホテルの倒産、管内農産物直売所低迷 [後継 高齢化]、桜過去最高の早咲き、弘前桜祭り、リンゴ輸出好調価格安定、地元祭り回復予告、県会議員選挙終了、知事選挙序盤戦開始。
		旅行代理店	コロナ特別融資の返済が始まってきている企業が多く、厳しい意見の会社も見受けられる。
		設計事務所	食品や日用品の値上げ同様建築資材等の値上げも物凄いです。建築関係は単価が高いので設計から工事発注までの間の値上がりで当初予定価格を大幅に超える状態です。いつ納まるか全く予想が出来ません。結局のところ設計変更をして価格を下げる作業をすることになります。この労力も大変なことです。
	県南	コンビニ	電気代は当店に於けると月額10万円強負担が増え、オール電化の御家庭もかなりの負担増と聞いております。個人消費は先行き不透明。
		百貨店・スーパー	止まることを知らない少産多死により、労働力人口が減少し、地域で働く若年者が少なくなっています。この人口減少でも生きていける生活圏にして、年金制度にしないと、本当に都市が消滅してしまう。4月からの選挙で立候補している皆さんと、国や県・市町村には、もっと知恵を出して、もっと頑張ってください。ムリ・ムラ・ムダを無くして欲しい。卵不足が相変わらずです。ブラジルからの輸入が決まったそうですが、早く安定供給がなされるように祈ります。3/13以降、マスク着用が自由化されました。でも私は怖くて外せません。毎日発表されている新型インフルエンザの数字は、報告された数であって、実態を反映されていないと思います。早くコロナ前の生活ができるよう、自由に行き来できるよう、祈ることしかできません。
		卸売業	新規店のオープンが多いが、既存店の閉店の動きも見られる。空きテナントの回転が早いように感じる。
		一般飲食店	兎も角、ウクライナ、ロシアの戦争が終止符しないと世界経済が平常にならない。この戦争で温暖化が急速に進んでいる情報もあります。それこそ非常事態にらないことを祈っています。
		タクシー	旅客運送事業に携わっているが、今年度は海外からのクルーズ船も青森・八戸市にも多く入港予定になっているし、車両の予約にしても大型車両やジャンボタクシーなどの予約、問い合わせが増えてきているような気がする。
		美容院	少子化により学校のクラス減、クラス人数の減、卒業生の減など、これからの人口減について心配しています。
		ガソリンスタンド	人口減少、人手不足等多くの企業で悩ましい問題となりつつある。
設計事務所		物価高が、料金に反映できていない。	
下北	百貨店・スーパー	今年度は選挙が続き多種多様な時流が変化するとき、より良い方向に改善されることを期待。	
企業	東青	食料品製造	コロナ規制で行動できない期間からようやく緩和され、帰省や上京が増えてきています。自分自身も体調管理に気をつけながら行動したいと思います。
		建設	物価高など厳しい経済状況とは別に新型コロナからの解放によって「明るい雰囲気」もあるように感じます。

企業	東青	経営コンサルタント	建設関連でも人手不足による人件費増加、資材高騰の継続、さらに資材納期の遅れによる工期の遅れにより、工事利益の減少がみられる。前年度は新型コロナウイルス禍対策の政府による資金繰り支援で倒産は低水準だったが、次第に返済時期を迎え、物価高も追い打ちとなり、コロナで疲弊した企業の息切れ感が出ており、今後はさらに倒産が増加する可能性がある。
	津軽	建設	コロナが少し落ち着いて緩和されて少しでも良い方向に行ってほしいです。今年の花見はいつもより2週間も早いそうです。観光客に以前の様にゴールデンウィーク時に弘前の桜の花を見に来てほしい。段々と早くなる桜の開花も温暖化によるものなのか心配です。6/4の青森県知事選挙はこれからの青森県を担う選挙です。一人ひとりの一票を投票しましょう。投票率を上げる為に何が必要なのでしょうか。
		広告・デザイン	新たな事業展開を考えている企業様からの相談も受けているが、もともと余力がある企業が第二の柱としてという考えに至っている。特段目立った動きはないように感じる。
	県南	電気機械製造	某大手電力会社は値上げ17.6%で、東北は足りなくなると真っ先に融通するのに値上げ25.2%とは納得いかない。このような地方蔑視・中央優遇を正していく新しい県政に期待したい。
		広告・デザイン	電気、ガス、灯油等のエネルギー系の価格上昇で想定外にコストが上がり、経営を圧迫している。
雇用	東青	新聞社求人広告	旅行客が、かなり多くなりました。

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

○地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺町村	30	23	4	3
津軽	弘前市とその周辺市町村	30	22	6	2
県南	八戸市とその周辺市町村	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺町村	10	9	1	0
		100	75	18	7

○分野別の業種・職種

家計関連	小売	コンビニエンスストア、百貨店・スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、商店街、卸売業
	飲食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、ガソリンスタンド
	住宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

(2) 調査事項

- ① 3カ月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 3カ月後の景気の先行き判断とその理由

参考1 景気の現状判断

参考2 その他自由意見

(3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

2. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、景気の現状または先行きに対する5段階の判断それぞれの所定の点数に各判断の構成比(%)を乗じて算出している。

評価	良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が「(景気は)変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方角性を表す目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ

tel : 017-734-9166

fax : 017-734-8038